⑶　国からの出向職員の機会費用

引当外退職給付増加見積額には、国からの出向職員に係る見積額が含まれております。

国からの出向職員に係る見積額	81,876,000円

10．消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

Ⅱ．貸借対照表注記

１．運営費交付金から充当されるべき賞与の見積額	236,828,131円
２．運営費交付金から充当されるべき退職手当の見積額	8,365,575,835円

３．固定資産の減損

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価格等の概要

固定資産の種類及び用途	場所	帳簿価額
建物		243,085,326円
研修施設	東京都港区白金台４丁目273番57	243,085,326円
倉庫兼宿舎	東京都世田谷区桜新町１丁目495番10	0円
構築物		1,677,144円
研修施設塀	東京都港区白金台４丁目273番57	1,677,144円
宿舎用地石垣	福岡県筑紫野市二日市北２丁目296番20	0円
機械及び装置		342,798円
研修施設厨房設備	東京都港区白金台４丁目273番57	342,798円
工具器具備品		1,905,500円
研修施設備品	東京都港区白金台４丁目273番57	1,905,500円
土地		1,252,242,165円
研修施設敷地	東京都港区白金台４丁目273番57	681,000,000円
職員宿舎敷地	東京都世田谷区祖師谷１丁目149番１、13、14	106,000,000円
倉庫兼宿舎敷地	東京都世田谷区桜新町１丁目495番６、10	98,100,000円
宿舎用地	福岡県太宰府市朱雀２丁目９番36	55,040,000円
宿舎用地	福岡県筑紫野市二日市北２丁目296番20	19,930,000円
倉庫敷地	福岡県福岡市博多区吉塚５丁目110番、112番	213,850,000円
倉庫敷地	福岡県糟屋郡粕屋町酒殿924番１、８	64,372,165円
書庫敷地	福岡県糟屋郡篠栗町高田258番13	13,950,000円

⑵　減損の認識に至った経緯

減損の認識を行った固定資産については、不用資産として売却処分方針を決定し、平成20年９月１日及び平成20年12月８日に売却入札公告を開始したため減損を認識しました。

⑶　複数の固定資産を一体として判定した資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供するものと認めた理由

研修施設に関する以下の資産については、全体で一つのサービスを提供する施設であるため、一体として減損の判定を行いました。

建物（研修施設）
構築物（研修施設塀）
機械及び装置（研修施設厨房設備）
工具器具備品（研修施設備品）

⑷　回収可能サービス価額が、正味売却価額である場合には、その旨及び算定方法の概要

減損の対象とした資産は、使用の停止と売却処分を決定しましたので、回収可能サービス価額を正味売却価額とし、その算定にあたっては、不動産鑑定士による鑑定評価を行い、平成20年度決算において減損損失累計額を計上しました。

平成21年度においては、正味売却価額が帳簿価額を下回らないと認められるため、減損損失額は計上しておりません。

Ⅲ．キャッシュ・フロー計算書注記

資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	68,006,660,119円
定期預金	△　64,794,502,903円
資金期末残高	3,212,157,216円

Ⅳ．有価証券関係

１．満期保有目的の債券で時価のあるもの

区分	当事業年度（平成22年３月31日）		
	貸借対照表日における貸借対照表計上額（円）	貸借対照表日における時価（円）	差額（円）
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	59,486,553,925	60,744,185,000	1,257,631,075
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	5,000,000,000	3,165,000,000	△　1,835,000,000
合計	64,486,553,925	63,909,185,000	△　577,368,925

２．満期保有目的の債券の決算日後における償還予定額

（単位：円）

区分	１年以内	１年超５年以内	５年超10年以内	10年超
債券				
国債・地方債等	—	3,600,000,000	—	—
社債	—	6,450,000,000	—	—
外国債券	—	—	—	5,000,000,000
その他	1,300,000,000	48,250,000,000	—	—
合計	1,300,000,000	58,300,000,000	—	5,000,000,000